

S I Bによる前橋市アーバンデザイン推進業務の完了について

1 はじめに

民間主体のまちづくりを効率的、効果的に推進するため、まちづくり分野では全国初となるS I Bを活用した業務が完了しました。

この取り組みは従来の仕様書に基づき実施内容を指定する仕様発注ではなく、民間の創意工夫やノウハウを活かすことで、事業の質及び成果の向上が見込まれる成果連動型契約を活用したものです。

2 事業概要

馬場川通りを対象とした地域まちづくり勉強会や屋外空間の利活用に関する社会実験などにより、地域コミュニティの再生及びエリア価値の向上に寄与する事業を実施する。

また、支払いに連動する成果指標には歩行者通行量の増加を設定し、第三者評価機関へ事業評価を委託することで適正な評価による支払いを担保する。

業務名：S I Bによる前橋市アーバンデザイン推進業務

業務期間：令和3年9月16日～令和6年7月31日

受託者：一般社団法人前橋デザインコミッション

委託金額：13,100,000円(支払額が最大の場合)

3 支払い条件

○固定支払い：事業実施の実績を判断して支払う

固定支払	基準値	支払額		
		R3	R4	R5
事業1 地域まちづくり勉強会	事業実施実績の確認	1,100,000円	1,100,000円	1,100,000円
事業2 社会実験	事業実施実績の確認	4,100,000円	—	—

○成果連動支払い：指標の達成度合いにより支払額が変動する

成果指標	定義	支払い条件	
		基準値	支払額
エリア内通行量	馬場川エリアにおける1カ月の歩行者通行量	A	50,432人以上 5,700,000円
		B	47,910人以上 3,800,000円
		C	45,388人以上 1,900,000円
		D	45,387人以下 0円

4 実施内容

○令和3年度

- ・社会実験（馬場川パーク）令和3年10月29～31日
- ・勉強会（人材育成のための講習会や現地視察+ワークショップ） 4回

○令和4年度

- ・社会実験（馬場川パーク）令和4年5月28～29日
- ・勉強会（人材育成のための講習会+ワークショップ） 2回

○令和5年度

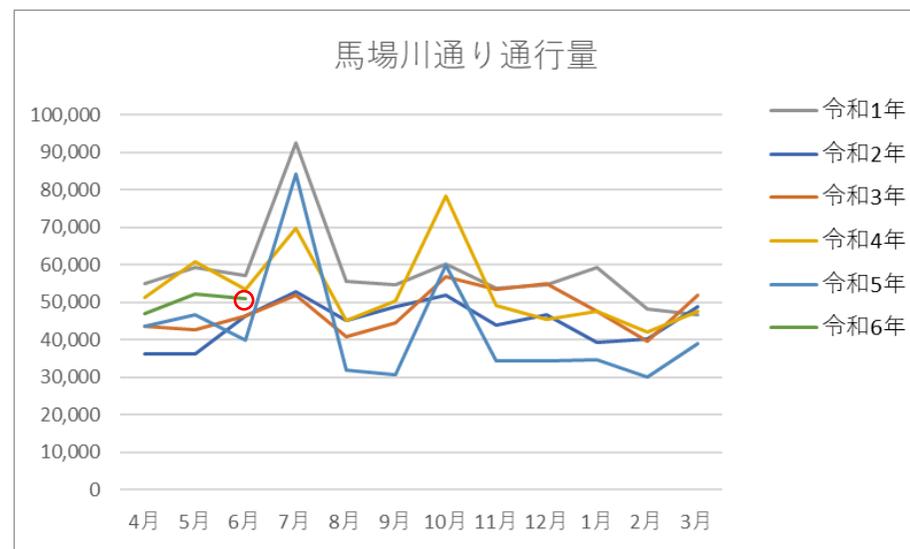
- ・勉強会（人材育成のための講習会+ワークショップ） 2回
- ・任意実施小規模社会実験（Poppin Rose Market など） 16回

○令和6年度（4月～6月）

- ・社会実験（馬場川通りまちびらき）令和6年4月12～13日
- ・任意実施小規模社会実験（Poppin Rose Market など） 10回

5 実施結果

○成果連動支払いの指標である歩行者通行量は評価時期である R6.6 において 51,039 人となり、評価基準に照らし、A 評価となった。



	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
4月	55,131	36,117	43,489	51,419	43,524	47,067
5月	59,305	36,129	42,718	60,928	46,718	52,341
6月	57,048	46,525	46,456	53,445	39,856	51,039
7月	92,429	52,714	52,002	69,761	84,066	0
8月	55,535	45,226	40,979	45,102	31,982	0
9月	54,732	48,957	44,434	50,434	30,568	0
10月	60,278	51,883	56,759	78,360	59,847	0
11月	53,655	44,037	53,587	49,152	34,407	0
12月	54,575	46,579	55,050	45,377	34,538	0
1月	59,164	39,357	47,509	47,741	34,599	0
2月	48,240	40,248	39,568	41,960	30,199	0
3月	46,663	48,782	51,815	47,731	38,868	0

6 まとめ

- ・成果連動型委託契約方式（PFS）として実施したことで、通常の仕様発注型委託事業ではできなかった様々なアイデアの実践につながった。
- ・既存の商店街組合組織を改組して「馬場川通りをよくする会」を作り、コミュニティの再生、エリア価値の向上に資する取り組みを継続的に行う仕組みを作ることができた。
- ・当初計画では社会実験は R4 までに実施して、R5 は行わない予定であったが、事業者が成果を上げるために R5 も小規模なワークショップを毎月実施し、市民を巻き込む取り組みにつながった。